



地域包括ケア病棟広報誌Design第61号です。看護師の有志による飾りつけのお知らせと、研修会の報告などを掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

コロナに負けるな。この危機を乗り越えましょう。

号外59号で案内しました、院内1階展示スペースの看護師の有志による飾りつけですが、“春バージョン”から、“新緑～初夏バージョン”になりました。前回に引き続き、なかなかの力作となっています。看護師って器用な人が多いのでしょうか!?



オンラインで認知症研修会を開催しました。

～ コロナ禍でも安心して生活して頂ける方法を紹介させて頂きました ～

去る3月19日（金）、当院認知症疾患医療センター主催による認知症研修会を実施しました。今回の研修会は密を避けるため、オンラインで開催させて頂きましたが、当日は、認知症ケアに関わる地域の専門職の皆様17名が参加して下さいました。

コロナ禍において、外出や社会参加の機会が減少することで、認知症の人やその支援者の生活様式も変化せざるを得ない状況が続いていますが、今回の研修会では、当院リハビリテーション科主任の棚田作業療法士より、「認知症の人が安心して生活を送れるように～コロナ禍を踏まえて」と題して、自宅で過ごす時間が増える中で、8つの項目（①健康管理、②手指衛生、③マスク着用、④距離の確保、⑤栄養状態の管理、⑥休息・睡眠の確保、⑦生活環境の調整、⑧社会活動への取り組み）において工夫できることを通じて、安心して生活できる方法を紹介させて頂きました。

*

当疾患医療センターとして初めてのオンライン研修会だったため、不馴れなところもありご不便をおかけしましたが、今後も地域の認知症対応力を向上できるよう取り組んでいきたいと思っております。みなさま、引き続きよろしくお願いたします。（地域医療連携室 主事 松田 辰基）

地域医療連携室より

～ 目標 ～

令和3年度がスタートして1ヶ月が経ち、地域医療連携室の令和3年度の目標を立てました。達成度合いが把握できるよう、出来る限り数値化しました。(地域医療連携室 室長 南出 弦)

*

(1) ご紹介頂く患者様(初診・再診) **10,000名**の突破

平成29年度、平成30年度、令和元年度と3年連続、ご紹介頂く患者様が10,000名を超えていましたが、令和2年度は、コロナの感染拡大の影響で、9,100名程度にとどまりました。新型コロナウイルス感染症終息の見通しが立ちませんが、引き続き、患者様には安心して当院を受診して頂く取り組みを継続してまいります。

- ① 当院の診療科を広く知って頂くための広報の充実
- ② 地域の先生方のご要望把握のためのアンケートを実施
- ③ ご紹介患者様の待ち時間短縮

(2) 逆紹介推進による逆紹介率 **100%**の突破

令和2年度、当院での治療終了後、ご紹介元にお返しした患者様と、新規で患者様のご紹介させて頂いた患者様は約7,500名となり、コロナの影響を受ける前の令和元年度とほぼ同数となりました。地域の診療所の先生方との連携強化を引き続き、推進してまいります。

- ① 適切な逆紹介の推進
- ② 登録医紹介パンフレットの刷新(配架スペースのレイアウト変更)
- ③ 登録医療機関の募集



(3) 医師によるオンラインカンファレンス **10回/年**の実施

地域の診療所の先生方との連携強化を目的として、ご紹介患者様の症例報告会の実施を検討しています。追って、ご案内させていただきます。

(4) 入退院支援加算 **1,000件/年**の突破

入院患者様が安心して退院して頂けるよう、取り組みを強化してまいります。

(5) 老健やましろと一層の**連携強化**

病状やADL低下などにより、自宅退院が難しい場合には、老健やましろを紹介させていただきます。

(6) “彩り”の、地域の皆様からのご紹介による受け入れ割合 **50%**以上

引き続き、地域包括ケアシステムの一翼を担うため、地域からの受け入れを強化してまいります。令和2年度、地域の皆様からのご紹介による受け入れは約45%でした。